

講座「生きること」開催記録 1998年度～2007年度

開催年度	講師	テーマ
1998	梁 容 子 (「女のための大工教室」主宰)	木を通して人間を考え 人間の営みを通して 美しいものを探す
	金 里 博 (在日ハングル詩人)	私が朝鮮語で詩を書くこと—生きること—
	園田 雅春 (高槻市立上牧小学校教諭)	近ごろの子ども事情 —育てたい「自尊感情」—
	武田 靖彦 (広島県原爆被害者団体協議会所属)	子や孫に緑豊かな 平和な世界を残したい
	仲谷 真一 (大阪精神障害者連絡会「ぼちぼちクラブ」事務局長)	精神病になってよかった —「精神障害者」である 私の今までの生活から見えてくるもの—
1999	安部 夏丸 (小説家)	雑魚寝ばなし —常識・価値観を考える—
	高橋 卓志 (神宮寺住職・アクセス 21 代表)	生きること死ぬこと
	乾 千恵 (時に「書」も書くエッセイスト)	自分らしく生きたい —ありのままに 夢を持って—
	金 秀 男 (関西韓国 YMCA アジア青少年センター館長)	カネモト・ヒデオから キム・スナムへの道のり
2000	青木 新門 (小説家)	いのちに生かされて —だが少年たちは今—
	金城 馨 (関西沖縄文庫主宰)	大阪から見た沖縄 そして大和
	今里 哲 (シャンソン歌手)	私の人生、薔薇ん、バラん
	東野 健一 (ポトウア/絵巻物師)	遠くて近い国インド そこで出会った事
	中谷 紀美子 (夜間中学校教諭)	教える側が育てられ —30余年義務教育にかかわって—
2001	石田 雅男 (長島愛生園入園者自治会会長)	ハンセン病と私
	鄭 甲 寿 (ワンコリアフェスティバル実行委員長)	ワンコリアを目指す私の想い
	記虎 敏和 (啓光学園高校教諭・ラグビー部監督)	情熱と愛情 —子どもたちの可能性を信じて—
	辻 一 (大阪脊髄損傷者協会会長)	人生をサバイバルからアートへ —障害者のトータル・リハビリテーションから—
	本田 哲郎 (釜ヶ崎反失業者連絡会共同代表・カトリック神父)	野宿をしいられた仲間の願いと連帯したい!
2002	今城 千重子 (守口老人保健施設「ラガール」支援相談員・元タレント)	いつでも人生スタートライン 好きで歩いたわが半生
	金沢 泰裕 (J・W・M「弟子教会」牧師)	生き方を変えた男!! むかしヤクザ、今牧師
	高平 和子 (人形劇団「クラルテ」所属・人形劇俳優)	人形劇に生きる ～出会いが支えてくれたこと～
	清水マリアルース (ボランティアグループ「イフィック」代表)	異なった文化とともに暮らして
	河野 和永 (NPO 法人「陽だまりの会」理事長)	“ありのままに生きる” って難しい・・・!

開催 年度	講 師	テ ー マ
2003	藤谷 蓮月 (守口市覚了寺 パンク坊主)	“パンク坊主” 宣言 ～生き活きと生きる・共に生きる～
	陳 天 璽 (国立民族学博物館助教授)	“無国籍者” として生きること
	米原 耕治 (枚方市障害者卓球 倶楽部設立代表他)	“半身マヒ” でスポーツ指導 —くも膜下出血からの奇跡的復帰—
	片山 旭星 (琵琶奏者)	生き続ける琵琶の調べ
2004	橋中 初男 (コルク昆虫画家)	出来事は我が人生の一ページ
	橋口 高明 (社団法人アジア協会 アジア友の会常務理事)	命と「水」を見続けて
	武 るり子 (少年犯罪被害当事者の会代表)	少年犯罪で息子を奪われて
	茨木 四郎 (元公立学校長)	広島のかき「兵隊さん、ボク、戦争はイヤです」
	島津 良子 (奈良女子大学・立命 館大学講師)	婚外子の母として生きる
2005	松原 一則 (作家)	先に死なないで!!—長崎の被爆体験—
	李 福美 (じんけん楽習塾)	出会いからはじまる共生 コリアン系大阪人の立場から
	土肥 いつき (セクシュアルマイ ノリティ教職員ネットワーク)	ありのままの「わたし」を生きる
	堀尾 貞治 (現代美術作家)	現代美術と僕
2006	牧口 一二 (合名会社おばけ箱代表)	歩かれへんけど 歩いている
	有吉 須美人 (ブルースピアニスト)	ブルースの本場シカゴで、日本人が黒人音楽を続ける ということ
	舘林 千賀子 (同志社大学大学院)	人と人が繋がっている社会～介助犬とともに車椅子で 生活する中で感じたこと～
	田村 雅子 (野崎観音＝慈眼寺)	ご縁を大切に ありのままに生きる
2007	具志アンデルソン飛雄馬 (多文化 共生NPO世界人理事長)	死んだら終わり だから生きるんだ ～多文化共生へのかけはし
	大城 盛俊 (沖縄戦と平和をつたえる会)	沖縄戦を生き抜いて 命こそ宝 (ぬちどうたから)
	森田 隆子 (手記「女学生の戦 争体験」発行者)	女学生の戦争体験記 ～大阪香里 (爆弾) 造りをさせられた乙女たち
	岡崎 武志 (フリーライター)	枚方生まれの我が古本人生